

見本

後期日程

令和8年度

小論文

芸術文化学部 芸術文化学科

(募集区分b)

注 意

1. 開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけません。
2. 問題は、3ページにわたっています。
3. 解答用紙は1枚、下書用紙は1枚です。
4. 開始の合図があってから直ちに問題冊子、解答用紙、下書用紙を確認し、不備がある場合は監督者に申し出てください。
5. 解答用紙の所定の欄に、受験番号を算用数字で記入してください。氏名を書いてはいけません。
6. 解答は、すべて解答用紙の所定の欄に記入してください。解答用紙の所定の欄以外に記入した解答は、評価（採点）の対象としません。
7. 試験終了後、問題冊子と下書用紙は持ち帰ってください。

実施年月日
8.3.12
富山大学

独立行政法人国立美術館 国立アトリサーチセンターは、美術館に対する一般的な意識を確認し、国立美術館各館における活動の参考とするため、「美術館に関する意識調査」を実施している。

関東エリア（東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県）在住の20～79歳男女8000名を対象としたアンケート調査結果の一部として、図1に2015～2023年度回答の美術館への来館頻度（2ページ目）、図2に2024年度回答の男女別・年代別の美術館への来館頻度（3ページ目）を示している。

図1と図2を見て、以下の問に答えなさい。

問1 図1・図2に示されているデータより、関東エリア在住者の美術館来館者数の動向を簡潔にまとめた上で、その背景にある要因を考え、合わせて300字程度で述べなさい。

問2 問1で解答した結果を踏まえ、美術館等の文化施設は、今後どのようにあるべきか、あなたの考えを500字程度で述べなさい。

図1 美術館への来館頻度 (2015～2023 年度回答)

Q あなたは美術鑑賞のため、どのくらいの頻度で美術館を訪れていますか。

著作物引用箇所のため非公表

図2 男女別・年代別の美術館への来館頻度（2024年度回答）

Q あなたは美術鑑賞のため、どのくらいの頻度で美術館を訪れていますか。

著作物引用箇所のため非公表

（国立アトリサーチセンター

「美術館に関する意識調査（関東エリア）2024年度調査報告書」より作成）

見本

下書用紙